

かもめ便り

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院
理事長兼院長 福永 明広

シーガル病院

検索

記事紹介

秋祭り	1面
院長 徳島県表彰	2面
副院長 ラジオ出演	2面
作業療法だより	2面
納涼花火大会	3面
集団接種の応援	3面
薬局だより	3面
Dr.'sエッセイ	4面

【ホームページ】 <http://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

イベント

秋祭りを開催しました

10月6日(水)鳴門シーガル病院の秋祭りを開催いたしました。例年は夏に納涼祭を開催しておりましたが、今年は全国的な新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日程を遅らせ、秋祭りとして開催しました。

当日は雲一つない快晴でしたが、10月とは思えないほどの日差しと暑さでした。新型コロナウイルス感染対策に加え、飲み物や木陰にベンチやテント、ビーチパラソルなどを準備し、熱中症対策も行いました。また、各病棟ごとに分散して入場し、時間制限を設け対応しました。



たこ焼き、ミニたい焼き、フランクフルトの屋台が出店されました。屋外での開催とあって、患者さんも笑顔で楽しそうに食事をされている様子でした。

また、千本引きくじコーナーも出店されました。たくさんのひもには、一本一本別々のお菓子や飲み物の景品がくっついていきます。交じり合っている状態で一本選び、そのひもにつながっている景品がもらえる、というものです。シンプルなくじですが、もらえる景品が目の前にたくさんぶら下がっているので、お目当ての景品を当てようと大変盛り上がっていました。

久しぶりの大きなイベントで、患者さんも大変満足されている様子でした。これからも、笑顔あふれる楽しいひと時をみんなと一緒に過ごせれるよう、さまざまな企画を催していきます。



シーガルニュース

福永院長が徳島県表彰を受賞されました

この度、長年、精神保健福祉の増進に尽くしてきた功績が認められ、福永院長（理事長）が徳島県表彰を受けられました。

表彰式は、6月11日（金）ホテルクレメント徳島で開催され、飯泉徳島県知事から賞状が授与されました。



シーガルニュース

渡部副院長がラジオに出演しました

9月28日(火)と10月5日(火) 四国放送ラジオで放送している「となりのラジオ」のコーナー「徳島の医者聞く」に、当院の渡部副院長が出演しました。

1回15分の2回シリーズで放送されました。うつ病やその治療法のお話しを中心に、当院の専門分野の医療・病気についてわかりやすく解説する内容でした。

放送は終了していますが、今からでもインターネットで聞くことができます（例 radiko）。ぜひお聞きください。



今年の6月より作業療法プログラムとしての園芸を本格的に開始しました。何を植えるのか患者さんと検討し、「ナス」「ミニトマト」「スイカ」を植えることにしました。

夏野菜を植えるには遅い時期で大きく育つのか心配でしたが、植えた苗はしっかりと大きく育ち、それぞれが実をつけています。参加している患者さんも、日に日に大きくなっていく実を楽しみにしております。

今後は「ホウレン草」を植える予定で、今からワクワクしています。これからも患者さんと楽しみながら、園芸プログラムを継続していきたいと思っております。



作業療法だより

イベント

納涼花火大会を開催しました

7月30日(金) 納涼花火大会を開催しました。

例年は納涼祭の終盤に行っている花火大会ですが、納涼祭の順延により花火大会のみ開催しました。

当日は快晴で、職員が約100発の花火をテナポよく打ち上げ、患者さんにも大変喜んでいただきました。



シーガルニュース

鳴門市 コロナワクチン集団接種の応援について

8月21日(土)、22日(日) 鳴門市のUZUホールにて行われたコロナワクチン集団接種の応援で、当院からも医師・看護師が参加しました。

当日は約600名の接種者が来られました。今後も集団接種の開催が予定されており、地域貢献のためにも積極的に参加してまいります。

薬局
だより

この度、新しく小型の全自動散薬分包機を導入しました。錠剤やカプセル剤、粉薬を1つの小袋に分けて包んでくれる機械です。

小型ですが、自動で粉薬の量を分けてくれるので、1包ずつの量のバラつきも少なくなります。また、これまで手間がかかっていました少量の粉薬の調剤でも、均一に分包できるので安心です。

現在、大きな災害がこちらで起こっています。もし当院で津波などの災害が起こった場合でも、この分包機は100kg程でキャスター付きなので、一緒に避難させることができます。

災害時では、以前から設置してある大型自動分包機に不具合が生じ、使用できない可能性があります。今回購入した分包機のおかげで、患者さんにご迷惑をおかけする事なく、お薬の提供ができるようになりました。



四国放送ラジオ番組「となりのラジオ」の「徳島の医者」のコーナーでうつ病について話してきました。

9/28,10/5と2週に渡って放送されましたが、内容を一部抜粋して紹介します。

Q. うつ病とはどんな病気ですか。

A. 主として気分や意欲に問題が生じる病気です。具体的にはひどく気分が落ちこんだり、普段普通にできていたことをするのがひどくおっくうに感じるようになるという意欲の減退や、普段好きだったTVや趣味に対して興味や関心を失ってしまうような状態をはじめとしたうつ病に関連するいくつかの症状が一定期間、具体的には2週間程度続くとうつ病ではないかと考えることになると思います。

Q. うつ病の治療はどのようにして行いますか。

A. 重症度によって少し治療が異なる部分がありますが、重症度に関わらずすべてのうつ病患者さんに必要な治療は「十分な休養」です。休養に役立つのであれば休職や休学を検討する必要もあります。軽症であれば生活習慣を整えながら休養することで改善が得られ、薬物療法を必要としないこともあります。中等症以上のうつ病では薬物療法による治療が主体となります。

Q. 薬以外で新しい治療があると聞きましたがどんな治療ですか。

A. rTMSという治療です。rTMSは英語の名称の略語なのですが、日本語の正式名称は反復経頭蓋磁気刺激療法という名前になります。反復は繰り返し返しという意味ですね。経は経路の経、どこそこを通過とか、どこそこを介してという意味です。頭蓋は頭蓋骨という言葉があるように頭のことです。磁気は磁石の力で

すから、全部をまとめると頭に磁気の刺激を繰り返し加えるという治療になります。メカニズムとしては磁気力を介して脳内の電気信号を活発化し、それによって神経細胞同士のネットワークを調整することでうつ病の症状を改善すると考えられています。

2019年に日本でも保険診療が可能になりました。私の所属する鳴門シーガル病院では中四国で初めてこの治療法を導入し、うつ病患者さんを治療しています。

当院で導入しているrTMS治療についても紹介しました。私、個人としてもラジオ番組に出演するのは初めてで貴重な経験になりました。少しでも病院のPRにつながればうれしく思います。

医師 渡部真也



【編集後記】

秋祭りなどのイベントが無事に開催されました。

ニュースや部署だよりも掲載し、盛りだくさんの内容になって良かったです。

次号（『かもめ便り』第28号）は2021年12月に発行の予定です。

広報委員会

社会福祉法人 小瀬会URL



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料)運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分～30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

